

眼科後期臨床研修プログラム

I. 研修目的

臨床研修として多くの症例を経験することで、眼科疾患の診断、治療ことに最新の医療についての知識と理解を深める。大阪赤十字病院における研修期間においては、下記 IV. A. ①～④、B. ①～⑩の経験および理解を主体とする。

II. 研修内容

A. 経験すべき症例

①視力障害、②視野障害、③眼痛、④充血

B. 経験すべき疾患、病態

①屈折異常、②白内障、③緑内障、④糖尿病、高血圧、動脈硬化による眼底変化を代表とする眼循環障害・虚血性疾患、⑤網膜色素変性症、加齢性黄斑変性症を代表とする先天性、後天性網膜変性疾患、⑥ぶどう膜炎を代表とする炎症性疾患、⑦角結膜炎、⑧視神経炎、⑨斜視、眼球運動障害

C. 研修の実際

下記V. に示したスケジュールに従い、外来初診での問診から指導医の診察の介助を通して、眼科の主要症状から診断、治療への流れを学ぶ。外来で数多くの検査を施行することによって検査技術を習得する。病棟では、術前、手術、術後を通して各種疾患の治療の実際と術後管理を学び、病状変化時など、症例に応じた的確、迅速な対応が出来るように修練する。

III. 週間スケジュールなど

①研修開始～1週

検査、診察方法、カルテの書き方、手術準備などの講義と実習。

②研修2週～4週

外来にて初診患者の問診、検査、再診患者の検査担当。病棟にて指導医とともに入院患者を担当し、検査、診察、手術準備訓練、清潔介助の見習い。

③研修5週以降

外来担当は同上。病棟にて指導医とともに入院患者の担当。手術準備、担当患者の手術時は清潔介助。スキルに応じて小手術、白内障手術を執刀。